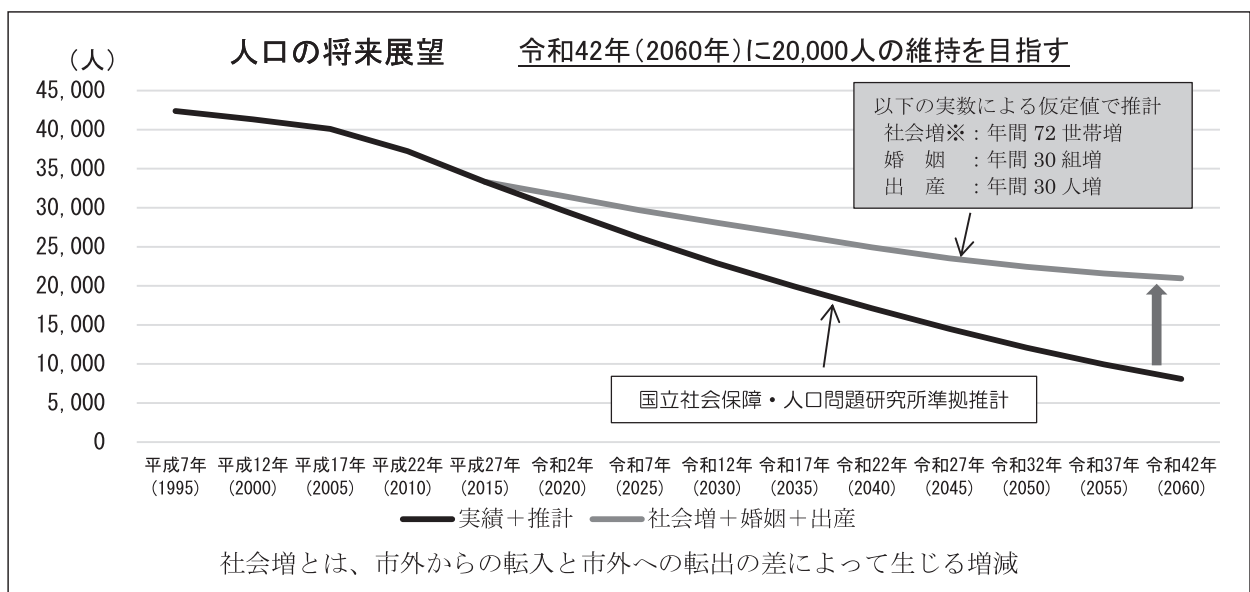


第2期つがる市地域活力創生総合戦略を策定しました

市では、人口減少に歯止めをかけ地域に活力を取り戻していくために、平成28年に「つがる市地域活力創生総合戦略」を策定し、地方創生関連の交付金を活用するなど各施策に取り組んできました。これまでの施策や事業の効果検証結果、直近の統計データ等を用いて「つがる市人口ビジョン」を改訂するとともに、国の基本方針や新たな視点に基づき、令和2～6年度を計画期間とする「第2期つがる市地域活力創生総合戦略」を策定しました。

つがる市人口ビジョン

- 課題 少子高齢化、若者の流出、雇用の創出 など
- 将来の方向性
 - 1 希望する結婚・出産・子育てをかなえる
 - 2 本市へのひとの流れをつくる
 - 3 人口減少における地域への影響に対応する



総合戦略の基本的な考え方

- 人口減少と課題の克服
- 地域創生と好循環の確立
 - 「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込むことで「まち」に活力を取り戻していく、自立のかつ持続的な好循環を確立

4つの基本目標

- 基本目標1 地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる
 - ◆若い世代の就業率の増加
- 基本目標2 つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる
 - ◆転出超過数の減少
- 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ◆合計特殊出生率の増加
- 基本目標4 安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
 - ◆つがる市に住み続けたいと思っている人の割合の増加

つがる市地域活力創生総合戦略（令和2～6年度）

○総合戦略においては、4つの基本目標とともに数値目標を設定しています。

○事業の展開においても、指標を設定し、実施後に評価・検証することで、効果的な戦略の推進を図ります。

基本目標	基本的な方向	数値目標
地域資源を活かした魅力あるしごとをつくる 	●本市の強みである農業を振興し、稼げる農業にしていくために、他産業との連携によるブランド化、高付加価値化を進めます。 ●企業誘致および起業支援に取り組み、農業以外でも安定した収入を得て、暮らしていける「しごと」を創出します。	若い世代(20～34歳)の就業率 70.3%（平成27年） →75.0%（令和7年） 
つがる市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる 	●文化・観光・イベント等を通じて本市を訪れる人を増やし、交流人口を増やします。 ●つがる市ファン倶楽部（仮称）を創設し、継続して活動することで本市に積極的に関わりを持つ関係人口を増やします。	転出超過数 214人（平成30年） →142人（令和7年） 
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 	●出会いの場の創出や若者の結婚に対する意識の高揚を図りつつ、希望する結婚の実現に向けた支援を行います。 ●安心して妊娠・出産できる環境づくりを推進するとともに、子育てに対する負担感の軽減を図り、出産・子育てにおける理想と現実とのギャップを埋めます。 ●女性活躍、ワークライフバランスの観点からも施策を検討し、男女が協力して無理なく子育てをすることができる環境整備を推進します。	合計特殊出生率 1.16（平成30年） →1.40（令和7年） ※合計特殊出生率 一人の女性が生涯に産む子どもの数を示す指標 
安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる 	●働き盛り世代を含めライフステージに応じた健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図ります。 ●地域のつながりや絆の強化・再生を図り、自らの課題を解決するための活動を促進することで、ソーシャルキャピタルを高めます。 ※ソーシャルキャピタル 組織やコミュニティ内部の信頼関係や互恵関係のこと	つがる市に住み続けたいと思っている人の割合 66.1%（令和元年度） →71.0%（令和6年度） 

人口ビジョン・地域活力創生総合戦略は、市ホームページに掲載しています。

【問い合わせ先】 地域創生対策室 電話42-2111（内線361）